

# 筑波大学日本文学会会報

第1号

昭和52年1月

御あいさつ	伊藤 博	一
日本文学会だより	.....	二
研究室だより	.....	三
会員研究業績	.....	四
筑波大学日本文学会会則・細則	.....	五
・研究室内規・研究科内規	.....	六
会員住所録	.....	七

御 あ い さ つ

伊藤 博

筑波大学が開学したのは、昭和四十九年四月のことでした。新構想大学として従来の研究室制度は採用しておりませんが、開学してから三年目を終えようとしている現在、学生の専攻も次第に定まってきました。おのずから日本文学研究にたずさわる教官・大学院生が中心となって、研究室のようなものができあがってきました。

この五十一年度になって、研究会・読書会活動もいっそう盛んになりましたので、それでは統合した仮称「日本文学会」を発足させては、と、有志にはかりましたところ、十二月十一日、教官・大学院生・学群生あわせて約五十名参加し、めでたく研究学会が発足いたしました。

これを基盤に、筑波大学において、日本文学の研究がいよいよしっかりしたものになるよう、会員各自が努力しましょう。また大学の内外において、日本文学の研究にたずさわっている諸先輩・諸先生には、この研究学会をあたたくお見守り下さいますよう、お願いいたします。

昭和五十一年十二月十四日